



ただひろ

しまぐち忠弘



未来に誇れる愛知をめざして!

愛知県議会議員 嶋口 忠弘 議会運営委員会 委員 / 経済労働委員会 委員 / 行財政改革・地方創生調査特別委員会 委員
新政あいち県議団 政策調査会長 / 全トヨタ労連顧問 / アイシン労働組合顧問・専門部員

2月定例議会で令和2年度当初予算を可決!!

愛知県議会2月定例議会在2月19日～3月25日まで開かれ、令和2年度当初予算が可決されました。(詳細は中面をご参照)

愛知県議会2月定例議会は2月19日に始まり、新型コロナウイルス感染症の影響により県内企業の様々な業種で事業活動に大きな支障が生じ、その影響は長期化、深刻化することも懸念されることから、中小企業を対象に「新型コロナウイルス感染症対策緊急つなぎ資金」の創設(制度概要4面記載)を早期に可決するとともに、愛知の更なる飛躍につなげていく『愛知新起動』の年に向けた、2020年度(令和2年度)一般会計予算案(2兆5,722億円)をはじめ、議員提出による主要農作物の品質の確保及び安定的な生産に寄与することを目的とする種子条例等の64議案を最終日の3月25日に可決し、閉会しました。



また、国の補正予算への対応や、国庫補助金等の確定に伴う所要の措置、ならびに2020年度(令和2年度)当初予算編成に向けての財源確保のための補正予算案など22議案についても会期中に可決しており、本議会では計86議案を可決しました。

2020年度(令和2年度)予算については、「スタートアップを起爆剤とした国際イノベーション都市への飛躍」「ジブリパークの整備等の大規模プロジェクトによる誘客の促進」「産業首都あいちを支えるインフラの整備」「安全・安心を確保するための投資」の4つを柱とした、本県独自の総合経済対策である「Aichi[愛知]・総合経済対策」に日本経済を牽引する施策を盛り込み、2019年度(令和元年度)2月補正予算と合わせた切れ目のない15か月予算として編成するとともに、「あいち重点政策ファイル330プラス1」と「あいちビジョン2020」を踏まえた、「13の柱」を重点に予算編成を行いました。

引き続き、厳しい財政状況ではあるものの、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」「日本一住みやすい愛知」の実現をめざし、愛知の更なる飛躍・前進に向けて全力で取り組んでいきます。





『ジブリパーク』の整備を推進

世界で類を見ないオンリーワンとなるジブリの世界観を表現するため、2022年秋の開業をめざす3エリア(青春の丘エリア、ジブリの大倉庫エリア、どんどこ森エリア)の整備工事を行うとともに、展示・演示計画を検討する。併せて、3エリア開業から概ね1年後の開業をめざす2エリア(もののけの里エリア、魔法の谷エリア)の実施設計を行う。(総務企画部会)



あいち地球温暖化防止戦略2030を推進

県は2030年度における温室効果ガス排出量26%削減の実現に向け、地球温暖化対策計画書制度に基づき、事業者への現地調査・助言を行うとともに「あいちクールチョイス」県民運動を拡大するため、クール&ウォームシェアを実施するとともに、スマートハウス、ZEHの普及を図るため、太陽光発電、HEMSなどの一体的導入に対して次年度も引き続き補助を行う。(県民環境部会)
※ZEH(=ネットゼロエネルギーハウス):外皮(外壁・窓等)の断熱性能等向上と高効率設備の導入による省エネと再エネルギー導入により、年間の消費エネルギー量が正味で概ねゼロとなる住宅



介護・保育人材の確保対策を強化

本県の介護人材求人倍率は6.93倍と人手不足が深刻化。離職防止を図るため、介護従事者の心のケアに特化した相談窓口を新設。併せて、外国人材の受け入れ促進を図るため日本語学習等の環境整備を支援していく。また、子育て支援として、保育士の労働環境改善や潜在保育士の再就職支援を強化していく。(福祉医療部会)



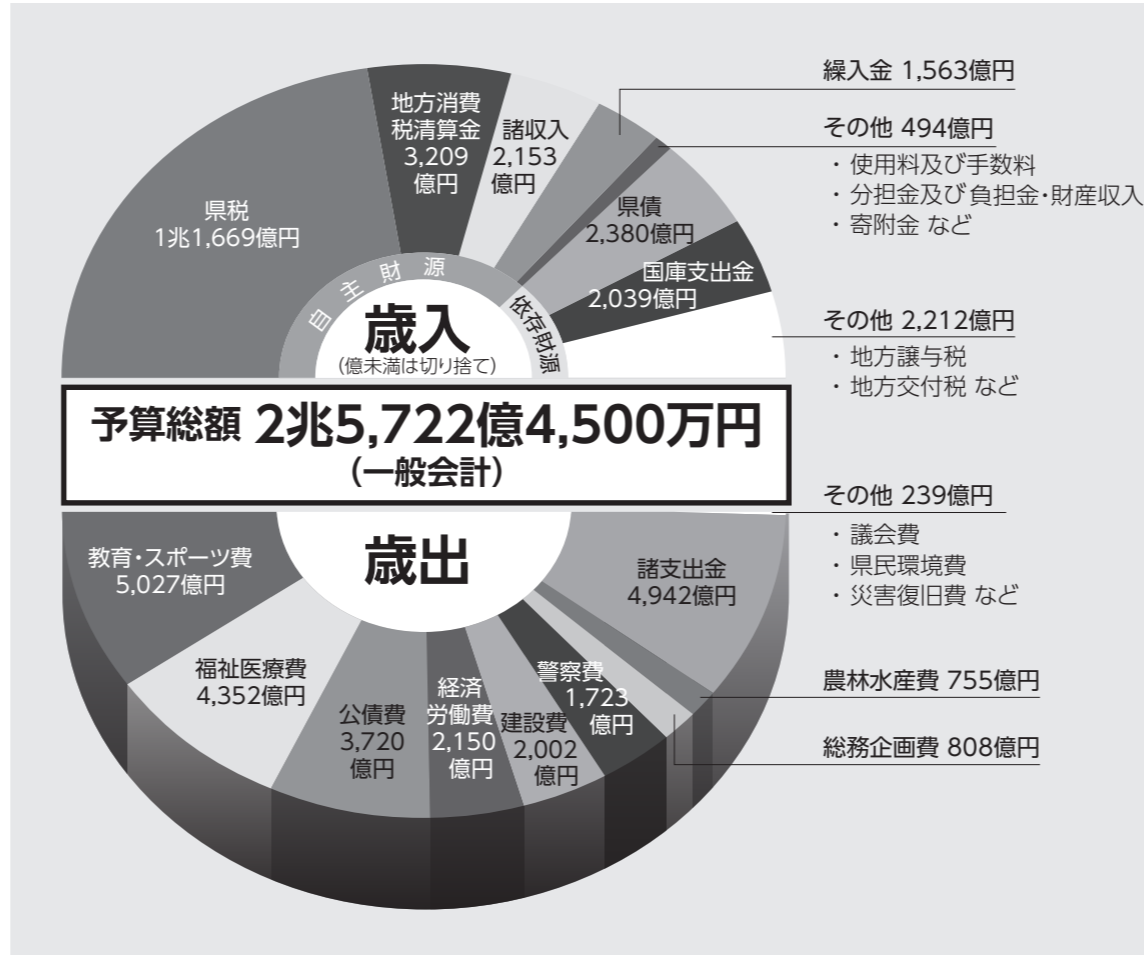
スタートアップエコシステムの形成へ向け支援拠点を整備

この地域の優秀なスタートアップを創出育成し、海外展開を促すとともに、世界から有力なスタートアップを呼び込むことで世界から優秀な人材を集める。更に、スタートアップと地域のモノづくり企業等の交流を図ることにより、新たな付加価値が次々と創出される総合的な拠点となることをめざし、「ステーションAi(エーアイ)」の整備を進める。(経済労働部会)



食育推進全国大会をAichi Sky Expoにて6月27・28日に開催

中部最大・全国3番手の大農業県・愛知の力を更にパワーアップさせるためにドローンやICT等の次世代技術の活用や農福連携を推進。また「元気な“あいち”から未来に羽ばたけ『いきいき食育』~健康な体、豊かな心、環境に優しい暮らしをめざして~」をテーマに「第15回食育推進全国大会inあいち」を開催する。(農林水産部会)



愛・地球博記念公園の施設の整備・改修や周辺道路対策を推進

愛・地球博記念公園で進めているジブリパークの5エリアの整備と連携し、公園施設の整備・改修に関する設計等を進めるとともに、駐車場増設や周辺道路の渋滞緩和に向けた対策を推進する。具体的には、新たな総合案内センター(仮称)の設計や、駐車場増設のための用地確保、公園周辺における交差点の改良などを進める。(建設部会)

交通事故死者数の更なる減少をめざし交通安全対策を推進

交通事故死者数の5割近くを占める高齢者の事故防止やあおり運転防止などドライバーの運転マナー向上に向けた啓発活動を実施するために、約2億5千万円の予算を計上。特に、高齢運転者の後付けの安全運転支援装置(ペダル踏み間違い急発進等抑制装置)の設置に要する費用の補助金として1億9千8百万円の予算を計上。(警察部会)

令和2年度(2020年度)県予算のポイント

歳入 法人二税は1割を超える減収、県税の実質収入は大幅減

歳入の大宗をなす県税は、前年度から148億円減となる1兆1,669億円を計上。このうち法人二税は、企業収益の減速に加え、法人県民税の税率引下げの影響により1割を超える430億円の減となる。また、地方消費税は2019年10月からの税率引上げの影響が本格的に現れ増収となるものの、都道府県間の清算金や市町村交付金の支出増があることから、実質収入ベースの県税収入は464億円の大幅減となる。

歳出 医療・介護などの経費が引き続き増加中、社会基盤整備は着実に推進

後期高齢者医療費負担金を始めとする医療・介護などの経費や、幼児教育・保育の無償化のための経費が増加する中、ジブリパークの整備や安全・安心を確保するための道路、河川等の整備など、将来に向けた投資は着実に推進。
本県の財政は、単年度の歳入だけで歳出を賄うことができず、多額の基金取崩しに依存する厳しい財政状況が続いているが、そのような中でも県債残高の抑制など、健全で持続可能な財政基盤の確立に向けた取り組みを進めていく。

教育の情報化(GIGAスクール構想)を推進

情報活用能力の育成を図るとともに、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を図り、小学校のプログラミング教育、公立小・中学校の情報教育、県立学校のICT教育を推進。具体的には校内情報通信ネットワークと授業用プロジェクターを順次整備するとともに、教員に対し1人1台タブレットを配備し、児童生徒用の端末も整備する。(教育・スポーツ部会)
※GIGAスクール構想:児童1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想

新政あいち代表質問



安藤としき団長
(清須市・北名古屋及び西春日井郡、4期)

- 1 持続可能な行財政基盤の確立**
Q 今後の行政需要に対応するため、中・長期的な視点に立った財政運営にどう取り組むのか?
知事 今後の積極的な施策展開に必要な税源を確保していくため、「Aichi総合経済対策」に掲げた施策に計画的に取り組み、持続的な経済成長を実現することで税収の確保を図り、中期的な視点に立った規律ある財政運営に取り組む。
- 2 パラスポーツの普及・推進とアジアパラ競技大会の開催**
Q 障害者スポーツの普及・促進と、2026年アジアパラ競技大会の開催実現は?
知事 障害者スポーツは、障害への理解促進や障害のある方の自立と社会参加の促進に大きく寄与すると認識しており、スポーツをしやすい環境の実現に向け取り組むとともに、バリアフリーの状況など適合性の調査を実施し、アジアパラ競技大会の開催実現に向けて取り組む。
- 3 交通事故防止対策**
Q 「高齢運転者」「自転車の安全利用」「歩行者の安全対策」など、昨年ワースト1位を返上した交通事故防止の継続した対策にどう取り組むのか?
知事 高齢運転者の対策について、「後付けのペダル踏み間違い防止装置の購入設置補助制度」を新設し、事故防止につなげるとともに、自転車の安全利用については条例の制定を検討する。
- 4 学校のICT環境整備**
Q 快適に学べる、県立学校のICT環境の整備は?
知事 2020年度中に、高速大容量の校内通信ネットワークを県立学校全校に整備する。
- 5 県立高校の空調設備**
Q 県立高校の空調設備について、設置及び維持を公費負担にする考えは?
教育長 県立高校の空調設備設置の費用負担については、検討すべき課題と認識しており、他県の状況を参考に運転経費について検討する。
- 6 少子化対策**
Q 保育人材の確保や、病児・病後児保育、児童虐待、子どもの貧困問題にどう取り組むのか?
知事 少子化対策に向け、2024年度までに常勤保育士3万人の確保をめざすほか、病児・病後児保育が県内全市町村で実施されるよう整備・運営支援を行い、児童虐待相談に対応したセンター専門職員の計画的増員と相談支援体制の強化、貧困の連鎖を断ち切る学習支援、子ども食堂の開設支援、相談体制の充実に取り組む。
- 7 介護人材確保**
Q 外国人材の受入環境整備など、介護人材の確保にどう取り組むのか?
知事 介護職の理解促進の取り組みとともに、国内人材だけでは限界があり、外国人材の日本語研修や介護技術の学習支援など、多様な人材の参入促進と定着支援に取り組む。
- 8 働き方改革の推進**
Q 本県企業の大きなウエイトを占める中小企業の働き方改革にどう取り組むのか?
知事 4月から、中小企業の時間外労働上限規制が始まることから、社会保険労務士などを派遣し、個々の企業に合った伴走型支援を行い、多様な働き方を選択できる労働環境づくりに取り組む。中小企業の働き方改革をしっかりと後押しし、「働くことを軸とする安心社会」の実現につなげる。

「新型コロナウイルス感染症対策緊急つなぎ資金」を創設!!

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内企業の事業活動に大きな支障が生じている中、2月18日に県融資制度の拡充を実施し、中小企業への資金繰りを支援してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化・深刻化することが懸念され、一層の資金繰り悪化による緊急的な運転資金のニーズが高まっている状況に対応するため、緊急つなぎ資金を創設しました。



融資対象者	新型コロナウイルス感染症の影響を直接的に又は間接的に受け、直近1か月の売上高又は売上高総利益額(以下、売上高等)が、前年同月又は2年前同月の売上高等に比べて減少している中小企業		
使途・限度額	運転資金 5,000万円	融資期間・利率	3年 年1.2%
信用保証料	*県が契約時の保証料補助を実施 0%	据置期間	最長1年
実施時期	2020年3月9日 ～2020年8月31日	その他	保証協会が認めれば、無担保保証枠の利用が8千万円以上でも、更に、本制度の融資限度額5千万円を全て無担保で保証することも可能。
保証協会への損失補償	10/10		

主な活動



▲ 19年12月29日
年末交通安全県民運動出発式



▲ 20年1月1日
高棚町内会新年交礼会



▲ 20年1月3日
新春矢作川マラソン



▲ 20年1月8日
安城市新年交礼会



▲ 20年1月12日
安城市消防出初式



▲ 20年1月12日
安城市成人式



▲ 20年1月24日
県政報告会



▲ 20年2月9日
安城市デンパーク駅伝大会



発行 しまぐち忠弘事務所

〒446-0059 愛知県安城市三河安城本町一丁目11番地1

TEL 0566-77-2874 FAX 0566-77-2724

ホームページ <http://www.giin-aiwu.com/shimaguchi/>

